

質問要旨

私道に地域団体が設置している街灯について、市はどれだけ把握しているか。

答弁要旨

私道に設置されている ^{街路灯} については、それぞれの団体が設置や維持管理を行っており、市ではその全数を把握しておりませんが、私道に設置されている ^{街路灯} の一部において電気代のみを市で負担しているものが509基ございます。

以上

質問要旨

本市においても神戸市と同様の助成制度を早急に創設し、「明るい町づくり」を市民とともに進めていく姿勢を示していただきたい。

答弁要旨

今回、議員のご指摘にありますように、本市においても地元自治会から私道における街路灯の設置や自治会所有の街路灯の維持管理に関して要望があることから、先ほど申し上げた市が電気代のみを負担している街路灯を含めた助成の在り方について、^{神戸も含めた}

事例を参考に研究を進めたいと考えております。

そのためには、私道に設置されている^{街路灯}の数やその設置状況等について把握する必要があることから、まずはその調査を行ってまいります。

以上

質問要旨

園田東生涯学習プラザの移転計画当時、東園田地域の住民にどのような説明をされたのか。

答弁要旨

地域住民の皆様には、平成27年3月に開催した説明会のなかで、当時候補地としておりました園田支所、園田地区会館と比べて、尼崎東高等学校跡地は、地域住民全体が利用しやすい園田地区の中ほどに位置していること、駐車場を含め一定の敷地が確保できること、また、令和2年度には園田西武庫線の藻川工区の供用開始も予定されていることなど、総合的な観点から設置場所の説明を行ったところでございます。

以上

辻議員 1004 作成部局 都市整備局 No.1

質問要旨 藻川工区の遅れについて、県からどのような説明を受けているか。また、住民へはどう説明される予定か。

答弁要旨

事業の遅れについて、事業者である兵庫県からは昨年度に、東園田側の権利者から事業に対する協力を得られないことから、引き続き丁寧な用地交渉を継続していくために、事業期間を令和5年度末まで延伸したいとの説明を受けており、本市としましても、権利者に対して引き続き丁寧な対応を行っていただくよう兵庫県に申し入れております。

また、事業延伸についてですが、権利者を含めた事業の関係者には、既に周知を図っておりますが、改めて地元の社協や地域振興センターと、対象範囲や実施方法を相談していく中で、事業者の兵庫県とともにより丁寧な地元説明に努めてまいりたいと考えております。

以上

辻議員 1005 作成部局 都市整備局 No.1

質問要旨 園田東生涯学習プラザの供用開始に合わせ、藻川に架かる新しい橋を歩行者や自転車が通れる状況にできるよう市も最善を尽くすべきだと思うが、どう考えるか。

答弁要旨

議員ご提案の藻川工区における暫定的な通行についてですが、事業者である兵庫県とも協議したところ、現在、橋梁は架かっておりますが、橋梁に接続するスロープの工事を実施しているところであります。このスロープの工事完成後、警察による信号機や横断歩道等の安全対策に係る施設の設置工事が予定されております。

食満側の堤防道路につきましては、従来から車両の通行があることから、安全に道路を供用するためには信号機や横断歩道等の設置が必要であります。

(次ページに続く)

これらの安全対策に係る施設の設置工事は、スロープの工事を含めた全ての工事完成後に設置されるため、現在の整備状況において暫定的に通行することは利用者の安全を十分に確保できないことから難しいと考えており、事業者である兵庫県も同様の考えであります。

こうしたことから、本市としましても1日でも早い供用開始を目指して兵庫県とともに取り組んでまいります。

以上

(教育次長答弁)

辻 議員 1006

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 尼崎市中学校給食運営会議ではどのような内容が議論され、どのような意見がでたのか。また、今後の開催頻度や予定されている内容は。

[答弁要旨]

「尼崎市中学校給食運営会議」は、令和4年1月から開始を予定している中学校給食の運営及び推進に関して、専門的な見地及び保護者、学校関係者等の個々の立場からの意見を聴収し、よりよい中学校給食を実施するため、今年度、新たに設置したものでございます。

8月25日に開催された第1回目の会議は、最初の運営会議ということもあり、学校給食の目的、これまでの中学校給食の進捗状況や、本市の学校給食の概要などについて、事務局からご説明いたしました。

委員からは、中学校給食基本計画に示されている学校運営や教育環境への影響の軽減、国が示している生徒一人一回当たりの望ましい栄養量を算出した学校給食摂取基準の重要性などについて、ご意見がありました。

(次のページに続く)

今後の運営会議につきましては、年2・3回程度を予定しておりますが、今年度につきましては、中学校給食の実施にあたり必要な給食費の設定などについて協議していくこととしております。

以 上

(教育次長答弁)

辻 議員 1007 作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 前回6月議会において、第1回目の中学校給食への使用も含めて、市内産米の具体的な活用について検討していきたいと答弁されたが、その後の検討状況はどうか。

[答弁要旨]

中学校給食における市内産米活用の検討状況につきましては、市内で収穫される米のうち、学校給食で使用可能な供給量や納入に係る必要な条件などについて関係者と意見交換を行いました。

今後とも引き続き、市内産米の活用について検討を進めてまいります。

以 上

(教育次長答弁)

辻 議員 1008

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 第1回目の記念給食や市内産米の使用回数、市内産食材の活用について、積極的に運営会議でも検討して進めていただきたいが、どうか。

[答弁要旨]

先ほどもご答弁いたしました。が、中学校給食運営会議は、よりよい中学校給食を実施するため、学識経験者、保護者及び学校関係者等の個々の立場から、献立作成方針、残食状況などの中学校給食実施状況について、ご意見をいただくこととしております。

しかしながら、議員ご指摘の第1回目の記念給食や市内産米の使用回数、市内産食材の活用につきましては、「学校給食に必要な量の確保」や「安価での調達」などの課題があり、これらの解決には生産者や農協などの理解と協力が必要であることから、引き続き、協議を進めてまいります。

以 上

(医務監答弁)

辻議員 2001

作成部局 健康福祉局 No.1

質問要旨 国の経済対策について市内の各医療機関にはどのような周知がなされているのか。また、診療所などに対し、給付金申請などのサポートは行っているか。

答弁要旨

国の経済対策による給付金申請などについては、兵庫県のホームページでの掲載をはじめ、兵庫県医師会より尼崎市医師会にも連絡がなされており、今後、尼崎市医師会より各診療所などへも説明がなされることとなっています。

本市におきましても、各種給付金等支援策の情報の把握に努め、速やかに情報提供等を行ってまいります。

以上

(医務監答弁)

辻議員 2002 作成部局 健康福祉局 No.1

質問要旨 新型コロナの影響により市内で廃業の恐れが生じている医療機関はないか。

答弁要旨

新型コロナウイルス感染症の影響で、医療機関の経営状況が全般的に厳しくなっていることについては、市としても、聞いておりますが、具体的に廃業の恐れが生じている医療機関については、把握しておりません。

以上

(医務監答弁)

辻議員 2003

作成部局 健康福祉局 No.1

質問要旨 コロナ禍において、休日夜間急病診療所の受診者数は過去数年間と比較し、どうか。また、収支面を含めた運営状況の現状はどうか。

答弁要旨

休日夜間急病診療所の今年度の受診者数につきましては、過去3か年の4月～8月までの平均受診者数と比べ、63.5%の減少となっております。

また、収支面では、受診者数の減少に伴い、診療報酬収入が減少する一方で、院内感染対策に係る経費が増しており、昨年度と比較し、経営状況は悪化しております。

以上

質問要旨 市内の保育施設において、新型コロナウイルスの影響により、保育士の確保に問題が生じていないのか。公立・私立それぞれ把握している状況はどうか。

答弁要旨

現時点で、公立及び私立保育施設において新型コロナウイルス感染症の影響により、保育士確保に問題が生じているといった事例はございません。

以上

質問要旨 昨年度の「保育士就職フェア」の来場者で市内保育施設に就職したのは何人か。また、今年度の参加法人や、来場者数の状況、今後の改善につなげていくための参加者や法人等の感想・意見等はどうか。

答弁要旨

昨年度の保育士就職フェアに来場された方のうち、複数の法人から、市内保育施設で採用したとの報告を受けておりますが、正確な人数までは把握できておりません。

また、今年度の就職フェアにつきましては、交通の利便性の高い中小企業センターにおいて、午前・午後の二部制とし、学生のみならず、潜在保育士の確保を目指し、開催いたしました。

周知については、市報はもとより、市長自らが法人保育園の保育士と出演した、法人保育士募集のPR動画や、法人が自ら作製した保育園の紹介動画を、本市ホームページに掲載する等の新たな試みも行いました。

(次ページへ続く)

当日の参加法人は、74園、47法人で、昨年度に引き続き、ハローワーク尼崎にも相談ブースを出していただきました。

来場者数は延べ36人で、その内訳は、学生8人、現在勤務中の方7人、潜在保育士7人、その他・未回答の方が14人でした。

来場者のほとんどの方から、様々な施設について知ることができて仕事探しの参考になった、施設見学の日程まで決めることができたなどの声を聴き、潜在保育士の方からは、子育てがひと段落し、保育士としてもう一度チャレンジしてみようと思ったなどの感想等も頂きました。

また、参加法人からは、コロナ禍での開催の評価や、保育士を採用できたことの感謝。一方で学生へのPR方法にもっと工夫を求める意見もいただきました。

次年度以降は、これらの意見を踏まえ、保育士就職フェアをより充実することを含め、さらなる保育士確保に繋がる効果的な施策を検討してまいりたいと考えております。

以上